

2年ぶりの開催、全校で参加

総体陸上競技の部が行われました



令和3年7月2日

文：校長 丹沢伸也

6月21日(月)峡南地区総体陸上競技の部が、ゴリサイクリンクスタジアムで行われました。市川南中は全校体制で参加しました。あいにく当日体調不良で参加できない生徒もいましたが、参加者全員が競技にエントリーし精一杯頑張りました。中には8位以内に入賞した生徒、予選を突破し決勝まで駒を進めた生徒、「共通の部」で上級生に混じって挑戦する生徒もいて、少ない人数ながら決して他の学校にひけをとらない健闘ぶりだったと思います。陸上は個人競技なので、何よりも自分と記録との戦いです。練習した通りの成果が出せた生徒、他の生徒と競い合うことで記録を更新できた生徒もいま



した。順位だけでなく、自分の持つ力が出し切れればそれが素晴らしいことだと思います。一方で、他の学校の生徒の力を目の前で見る良い機会にもなったのではないのでしょうか。500mで大会新記録を出した後800mでも優勝した生徒、女子の幅跳びで新記録を出した生徒がいました。二人とも私が以前勤務していた学校の生徒でした。普段はみんなと変わらぬ普通の中学生ですが、日頃の努力とひたむきに取り組んだ成果の現れだと思えます。同じような記録を出せなくとも、自分の力を極限まで高めるために一生懸命に取り組む姿は参考にしてほしいと思いました。

救命救急法を学びました

28日、救命救急法の講習会を行いました。例年、講師を消防署にお願いして実施しているわけですが、コロナ禍の中来ていただけのないため、今年度は自衛隊にお願いして実施できることになりました。北富士駐屯地の衛生科隊員他、8名の方に来ていただきました。ダミー人形でのAEDを使った救命救急法や止血方法、簡易担架の作り方を学びました。また、自衛隊が現在様々な災害において救助活動を行っていることから、どのように災害救助を行うのか、オートバイや救急車両を實際に使いながら説明してくれました。生徒にとっては多くを学べる貴重な機会となりました。



ストレスマネジメント教育に取り組みんでいます。

市川南中学校では、「ストレスと上手に付き合っていく方法

を学び、自分なりに実生活に活かしていこうとする態度を持ち、自己効力感を得、自らの生き方を身につけられる生徒の育成」を目的に「ストレスマネジメント教育」に10年以上取り組んでいます。総合学習の時間を使い3年間で計14回の授業を行っています。今年度もすでに6月22日(火)に1年生、23日(水)に3年生で授業を行いました。



夏の花植作業を行いました。

行いました。

23日、夏の花植作業を全校で行いました。当日は美化委員会が中心となって会を進め、あらかじめ準備された土をプランターに土を入れ、ベゴニア、ジニア、ニチニチソウ、ペンタスなど夏の花の苗を植えました。玄閑入り口も華やかになり、大事に育てていきたいと思えます。



小中集団下校を行いました。

25日、小中の集団下校を実施しました。降雪時、豪雨、強風時、または不審者情報や獣出没情報があった時は、場合によっては全ての児童生徒が無事に帰宅できるように小中学生一緒の集団下校を行います。この日は、その手順等を確認するための集団下校を行いました。各地区ごと小中の児童生徒が一緒に下校をし、職員も前後に付き添い安全を見守りました。



水泳の授業を2年ぶりに行っています

昨年度は実施できなかった水泳の授業ですが、今年度は、コロナウイルス感染症対策を行う中で行っています。16日に全校生徒と職員でプール清掃を行いました。25日から授業を始めました。ただし夏季休業中はプールを開放せず、学期末までの授業となり、通常通りとまではいき

ません。それでも今年は昨年よりできることが増えたことをうれしく思っています。



交流授業(授業力)を高める取り組み

市川南中学校では、先生方がお互いの授業を見合う「交流授業」を年に数回行っています。講師の先生が授業をしている時間を使い、それぞれの先生の授業を、みながら参観し意見交換をしています。6月に入ってこれまでに1年生の数学・理科、2、3年生の体育、2年生の英語・社会の交流授業を行いました。ちようど生活参観週間と重なり、保護者と共に授業を見る場面もありましたが、こういった取組を通し私たちの授業力を高めたいと思います。





6月のスナップ

